

T-ファイルで将来設計の第一幕を飾ろう

豊田工業高等専門学校長 山田 陽滋

皆さんはこれから、日々高専生活を送る中で、何を目指すかというゴールを設定して、これを達成するために、あるときはサブゴールを設け階段を上るようにそれらを一つひとつクリアしていくことになります。例えば、あるスポーツを極めたい、常勝の選手を目指したいとしましょう。まず、試合に出られるようになるためには、ポイントが奪取できるようなプレイを一つや二つ身に付けなければならない。そのようなところから始まって、やがて試合の最後に競り勝つためには、プレイの技術向上はもとより、人一倍の持久力を身につけなければならない。そのためには練習の後の時間を使ってランニングでさらに自分を追い込んでみよう、といった調子です。

しかしながら、自分の日々の生活はそのスポーツ一色で、全部数珠つなぎのように前後でつながりをもっているわけではありません。スポーツだけでなく、いろいろなイベントに参加してまったく種類の異なる経験することも少なからずあるでしょう。そして、あるときはそれらのイベントでよい成績を収めたり成功したりしますが、そうばかりもいかないで、ときに思ったほどの成績が残せなかったり、失敗することだってあるでしょう。でも、それらの経験も、自分の設定した最終ゴールを達成するための糧になっている～先の例でいえば、当初目標としたスポーツ選手像、格好よくポイントを決めて試合に勝つことができる自分へとつながっているんだ、そう思いたいですね。そう思いたいが、とにかく何でもやっていたら経験値が上がっていき、やがてそうなるかという、どうやらそうでもなさそうです。どうしたらよいか？

「何かを成し遂げようとするとき、その過程こそが大事だ」とよく言われますが、過程の一つひとつが理にあって緻密に組み上がっていくようであれば、やがて最終ゴールに到達することができるようになります。そうなるために今、T-ファイルの活用を始めましょう。T-ファイルには、単に経験した内容の記録を綴るだけでなく、自分のとったアプローチの詳細に触れ、良かった点や反省すべき点も合わせて記述していくようにします。すると、これらの記録を後で見返したときに、まずは当時の自分の一生懸命さが蘇ってきて再び勇気もらえるでしょう。そして、成功事例に当たれば今一度自信がもたらされるでしょうし、失敗事例を読み返したとしても当時の反省点が冷静に受け止められ、またチャレンジ精神が湧いてくることでしょう。いつの間にか、成功も失敗もそれぞれが数珠つなぎになって自分を支えてくれていることにやがて気づくでしょう。

豊田高専の本科を卒業、あるいは専攻科を修了すれば、そこまでとして設定したゴールは一旦達成されることになります。そして、ここが最終だと思っていたゴールがその時点でクリアされると、これがまた糧となってさらに高いゴールを目指せるようになります。つまり、高専生活の中で T-ファイルをうまく活用できるようになれば、社会に出てからも生涯に亘って、キャリアアップを目指すことができるようになります。皆さん一人ひとりがユニークな足跡をこの T-ファイルに記録していくことを通して、最終ゴールに向かって日々充実した気持ちで個々のイベントに取り組むことができるようになっていくことを切に願っています。